

九州地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度 第3回）
議 事 概 要 （ 速 報 ）

日 時 平成18年12月 7日（木）13：30～15：30

場 所 福岡市博多区 博多都ホテル 孔雀の間（3階）

出席者

- ・ 委 員 楠田委員長、明石委員、浅野委員、井上委員、小野委員、実積委員、善委員、野見山委員

- ・ 整備局 小原 局長、鈴木 副局長、上村 副局長、芦田 企画部長、古賀 建政部長、森北 河川部長、吉崎 道路部長、鈴木 港湾空港部長、森安 営繕部長、伊藤 用地部長 他

資 料

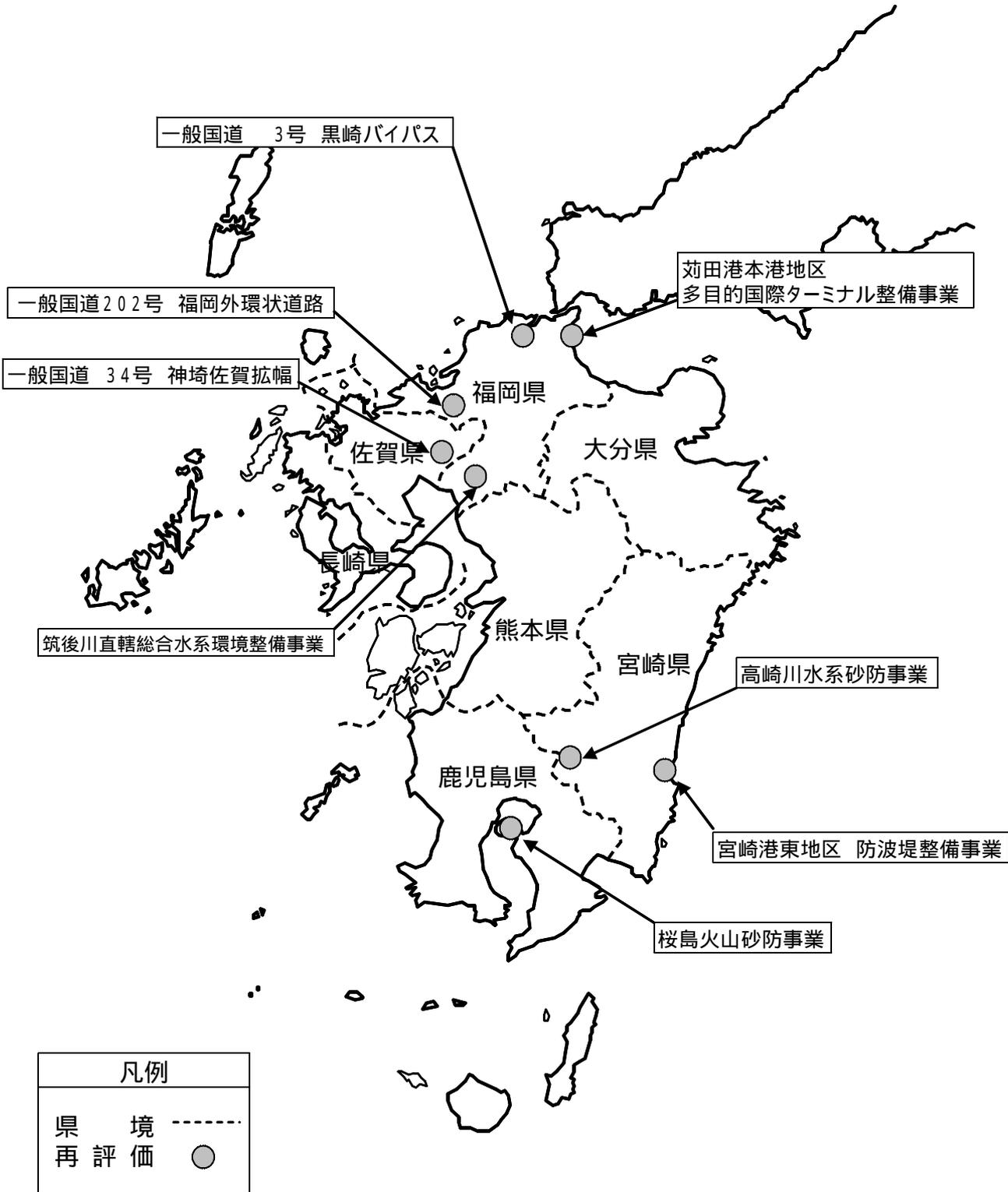
- ・ 資 料 - 1 議事次第
- ・ 資 料 - 2 九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・ 資 料 - 3 九州地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度 第3回）座席表
- ・ 資 料 - 4 平成18年度第3回委員会 事業再評価（河川・砂防3事業、道路3事業、港湾2事業）

議 事

- 1 . 開 会
- 2 . 出席者の紹介
- 3 . 対象事業の審議
 - 1) 重点審議事業の選定説明
 - 2) 再評価対象事業の説明、審議（河川・砂防3事業、道路3事業、港湾2事業）
 - ・ 桜島火山砂防事業
 - ・ 高崎川水系砂防事業
 - ・ 筑後川直轄総合水系環境整備事業
 - ・ 一般国道202号 福岡外環状道路
 - ・ 一般国道 3号 黒崎バイパス
 - ・ 一般国道 34号 神埼佐賀拡幅
 - ・ 苅田港 本港地区 多目的国際ターミナル整備事業
 - ・ 宮崎港 東地区 防波堤整備事業

4 . 閉 会

位置図(再評価)



九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿

あかし ひろよし
明石 博義 (社)九州経済連合会 副会長

あさの なおひと
浅野 直人 福岡大学法学部教授

いのうえ のぶあき
井上 信昭 福岡大学工学部教授

おの ゆういち
小野 勇一 九州大学名誉教授(いのちのたび博物館館長)

くすだ てつや
楠田 哲也 北九州市立大学大学院 教授

じつづみ としや
実積 寿也 九州大学大学院経済学研究院助教授

ぜん こうき
善 功企 九州大学大学院工学研究院教授

のみやま みちこ
野見山 ミチ子 NPO直方川づくりの会理事長

印：委員長、 印：副委員長

(五十音順、敬称略)

重点審議事業、要点審議事業の選定

本日の審議事業における重点審議事業、要点審議事業の選定理由について、河川・砂防事業の選定委員である小野委員、道路事業の選定委員である井上委員、港湾事業の選定委員である楠田委員長より説明を行った。

選定結果は、以下のとおりとなった。

再評価

【河川・砂防事業】

- ・重点審議事業：桜島火山砂防事業
- ・要点審議事業：高崎川水系砂防事業
筑後川直轄総合水系環境整備事業

【道路事業】

- ・重点審議事業：一般国道202号 福岡外環状道路
- ・要点審議事業：一般国道 3号 黒崎バイパス
一般国道 34号 神埼佐賀拡幅

【港湾事業】

- ・重点審議事業：苅田港本港地区 多目的国際ターミナル整備事業
- ・要点審議事業：宮崎港東地区 防波堤整備事業

審議結果

1. 事務局より再評価対象事業（河川・砂防3事業、道路3事業、港湾2事業）について説明し、審議を行った。

【桜島火山砂防事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

立ち入り禁止区域内にもイタドリ等の先駆的植生もあるので、それらの分布と土石流発生の状況も把握してほしい。

【高崎川水系砂防事業】・・・事業継続

【筑後川直轄総合水系環境整備事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

砂防として下流域へどの程度、土砂を供給すればよいかの計画はあるのか？

事務局：調査をしているが、年平均といった形で数字を示すのは現在は難しい。総合的な土砂管理といった取り組みも始まっており、砂防堰堤のスリット化等にも取り組む。

河川環境整備事業は、地域の自治体がいかにうまく活かしていくかが重要。自治体からヒアリングを行いながら事業に活用していく必要がある。

【一般国道202号 福岡外環状道路】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

早期に全線完成が実現するよう、暫定完成後引き続き4車線整備を進めていただきたい。

【一般国道 3号 黒崎バイパス】・・・事業継続

【一般国道 34号 神埼佐賀拡幅】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

今後も、評価の内容については、自然環境や人への配慮を充実していただきたい。

神埼佐賀拡幅事業については、軟弱地盤対策後の地下水流への影響について調査し、参考資料とされたい。

【苅田港本港地区 多目的国際ターミナル整備事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

特になし

【宮崎港東地区 防波堤整備事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

特になし

九州地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度 第3回）
議 事 概 要

日 時 平成18年12月 7日（金）13：30～15：30

場 所 福岡市博多区 博多都ホテル 孔雀の間（3階）

出席者

- ・ 委 員 楠田委員長、明石委員、浅野委員、井上委員、小野委員、実積委員、善委員、野見山委員

- ・ 整備局 小原 局長、鈴木 副局長、上村 副局長、芦田 企画部長、古賀 建政部長、森北 河川部長、吉崎 道路部長、鈴木 港湾空港部長、森安 営繕部長、伊藤 用地部長 他

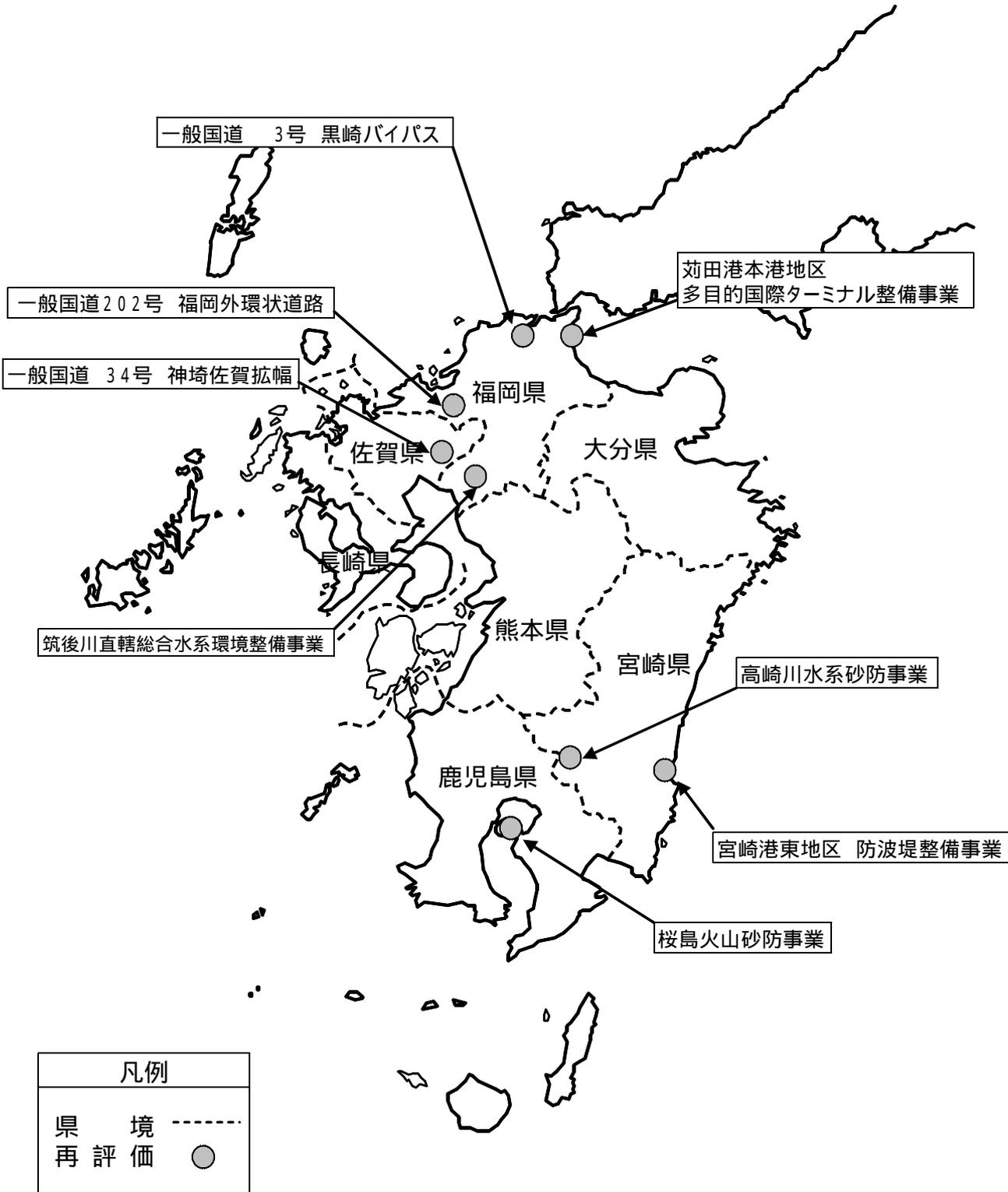
資 料

- ・ 資 料 - 1 議事次第
- ・ 資 料 - 2 九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿
- ・ 資 料 - 3 九州地方整備局事業評価監視委員会（平成18年度 第3回）座席表
- ・ 資 料 - 4 平成18年度第3回委員会 事業再評価（河川・砂防3事業、道路3事業、港湾2事業）

議 事

- 1 . 開 会
- 2 . 出席者の紹介
- 3 . 対象事業の審議
 - 1) 重点審議事業の選定説明
 - 2) 再評価対象事業の説明、審議（河川・砂防3事業、道路3事業、港湾2事業）
 - ・ 桜島火山砂防事業
 - ・ 高崎川水系砂防事業
 - ・ 筑後川直轄総合水系環境整備事業
 - ・ 一般国道202号 福岡外環状道路
 - ・ 一般国道 3号 黒崎バイパス
 - ・ 一般国道 34号 神埼佐賀道路
 - ・ 苅田港本港地区 多目的国際ターミナル整備事業
 - ・ 宮崎港東地区 防波堤整備事業
- 4 . 閉 会

位置図(再評価)



九州地方整備局事業評価監視委員会 委員名簿

あかし ひろよし
明石 博義 (社)九州経済連合会 副会長

あさの なおひと
浅野 直人 福岡大学法学部教授

いのうえ のぶあき
井上 信昭 福岡大学工学部教授

おの ゆういち
小野 勇一 九州大学名誉教授(いのちのたび博物館館長)

くすだ てつや
楠田 哲也 北九州市立大学大学院 教授

じつづみ としや
実積 寿也 九州大学大学院経済学研究院助教授

ぜん こうき
善 功企 九州大学大学院工学研究院教授

のみやま みちこ
野見山 ミチ子 NPO直方川づくりの会理事長

印：委員長、 印：副委員長

(五十音順、敬称略)

重点審議事業、要点審議事業の選定

本日の審議事業における重点審議事業、要点審議事業の選定理由について、河川・砂防事業の選定委員である小野委員、道路事業の選定委員である井上委員、港湾事業の選定委員である楠田委員長より説明を行った。

選定結果は、以下のとおりとなった。

再評価

【河川・砂防事業】

- ・重点審議事業：桜島火山砂防事業
- ・要点審議事業：高崎川水系砂防事業
筑後川直轄総合水系環境整備事業

【道路事業】

- ・重点審議事業：一般国道202号 福岡外環状道路
- ・要点審議事業：一般国道 3号 黒崎バイパス
一般国道 34号 神埼佐賀道路

【港湾事業】

- ・重点審議事業：苅田港本港地区 多目的国際ターミナル整備事業
- ・要点審議事業：宮崎港東地区 防波堤整備事業

審議結果

1. 事務局より再評価対象事業（河川・砂防3事業、道路3事業、港湾2事業）について説明し、審議を行った。

【桜島火山砂防事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

立ち入り禁止区域内にもイタドリ等の先駆的植生もあるため、それらの分布と土石流発生の状況も把握していただきたい。

主な質疑

今後の事業計画について

事務局：全体計画としては、土石流対策を平成26年度までに完了予定。

ただし、他の火山地域の例もあり、今後の噴火状況によっては計画を見直す可能性もある。また、維持管理については継続的に行う。

【高崎川水系砂防事業】・・・事業継続

【筑後川直轄総合水系環境整備事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

河川環境整備事業は、地域の自治体がいかにうまく活かしていくかが重要。自治体からヒアリングを行いながら事業に活用していく必要がある。

主な質疑

大淀川流域全体の土砂供給量の把握について

事務局：調査・検討はしているが、現時点で年平均といった形で数字を示すのは難しい。ただ、総合的な土砂管理といった取り組みも始まっており、今後は砂防堰堤のスリット化等にも取り組む。

城島地区(河川環境整備事業)における、地域住民との関わりについて

事務局：計画段階からの検討会開催により、住民の意見を反映するとともに、工事中についても意見を聞きながら進めた。

また、すでに地元住民による草刈りやゴミ拾いが行われており、グリーンパートナー制度によってゴミ袋の提供など、住民、自治体、国3者で連携して維持管理を行っている。

城島地区(河川環境整備事業)における、ワンドの整備理由について

事務局：本地区は筑後川下流であることから濁土が体積する箇所であり、水辺に近づきにくい箇所であったため、水辺に身近に触れることができるよう整備を行った。

【一般国道202号 福岡外環状道路】・・・事業継続

審議の結果、対応方針(原案)どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

早期に全線完成が実現するよう、暫定完成後引き続き4車線整備を進めていただきたい。

主な質疑

道路施設の耐用年数はどれくらいを考えているのか。

事務局：道路の耐用年数として確定したものはないが、過去の実績からしても40年という数字は妥当な年数と考えている。

【一般国道 3号 黒崎バイパス】・・・事業継続

【一般国道 34号 神埼佐賀道路】・・・事業継続

審議の結果、対応方針(原案)どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

今後も、評価の内容については、自然環境や人への配慮を充実していただきたい。

神埼佐賀拡幅事業については、軟弱地盤対策後の地下水流への影響について調査し、参考資料とされたい。

黒崎バイパスについては、時間短縮効果以外にも、黒崎地域のまちづくりに

向けての改善効果も今後検討していただきたい。

主な質疑

事業の完了見込みについて

事務局：黒崎バイパスについては、平成20年代中頃の全線暫定供用を目標に事業を実施中であり、全線暫定完成後、概ね10年後に全線完成を予定している。

また、神埼佐賀拡幅の全線完成については、平成30年頃を目標に事業を進めることとしているが、効果の大きな箇所から重点的に事業を進めていく予定である。

道路事業全般における意見

今後、道路事業の費用対効果算出時に、総費用から40年経過後の施設の残存価値を差し引くような算出手法についても検討していただきたい。

【苅田港本港地区 多目的国際ターミナル整備事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

委員からの主な意見

特になし。

【宮崎港東地区 防波堤整備事業】・・・事業継続

審議の結果、対応方針（原案）どおり、事業継続で了承された。

主な質疑

宮崎港の取り扱い貨物について】

事務局：概ね宮崎県内の貨物である。

防波堤の整備単価について

事務局：全体事業では1mあたり概ね2,000万円である。